

報道関係者各位

故 李御寧先生 一周忌追慕特別展示会 李御寧と『「縮み」志向の日本人』

韓国文化院では 韓国を代表する知性にして世界的碩学である李御寧（イ・オリョン）韓国初代文化部長官の一周忌を迎え、韓国と日本の両国に残された先生の文学的・文化的業績を、〈李御寧と『「縮み」志向の日本人』〉として再びスポットライトを当てる特別展を開催する運びとなりました。

李御寧先生は作家であり、文学評論家、ジャーナリスト、教育者、行政家、文化企画者でもあるなど全方位的な知識人で、現実を直視しながらもその壁を越えていつも新しさを追求する人物でした。1933年に生まれた彼は評論、エッセイ、小説、戯曲など文学のあらゆるジャンルにわたって執筆活動をしてきた作家です。1990年には韓国の初代文化部長官として韓国の主要文化機関である国立国語院、国立中央図書館、韓国芸術総合学校などが文化空間に生まれ変わるよう政策の新たな枠組みを提示しました。また、88 ソウルオリンピック開・閉幕式総括企画、大韓民国新千年準備委員会委員長、ユネスコ世界文化芸術教育大会組織委員会委員長など、韓国文化史に残る大規模な行事の重要な役割も多く担いました。さらに、1960年代に韓国文化を分析した『土の中にあの風の中に』と、1980年代に日本文化を分析した著書『「縮み」志向の日本人』を通じて韓日両国で文化分析の専門家として広く知られるようになり、韓中日比較文化研究所を通じて北東アジア文化の繁栄と和合を模索してきた人物です。

今回の展示会では李御寧先生が生涯取り組んだ著述活動を中心に、彼が残したメッセージを4つのテーマに構成し、今まで執筆してきた著作と写真、道具などを通じて紹介します。

尚、展示初日には李御寧先生の人生の伴侶であり文学同志でもあった姜仁淑（カン・インスク）寧仁文学館長をお招きし、彼の人生と著作について語っていただくギャラリートークを開催します。

つきましては、本イベントの周知にご協力いただけますようお願いいたします。資料のご依頼、取材のお申し込みは、韓国文化院(03-3357-5970)までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

【イベント概要】



■会 期：2023年3月24日（金）～4月25日（火）10:00～17:00
（休館日：日曜日）

※開幕式：2023年3月24日（金）14:00～15:00

※ギャラリートーク：3月24日（金）14:30～15:00（先着50名）

■会 場：韓国文化院 ギャラリーMI ↗ 入場無料
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-10

■アクセス：地下鉄メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」一番出口より徒歩3分

■展示内容：韓国の知性人であり、世界的な碩学者である李御寧が60余年間執筆した著作と生涯に関する写真、物品など合計100点展示

■主 催：駐日韓国大使館 韓国文化院

■後 援：寧仁文学館

「お問い合わせ」 駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 www.koreanculture.jp

イベント担当 河聖煥（ハ・ソンファン） / 広報担当 趙恩京（ジョ・ウンギョン）

【李御寧について】

李御寧(イ・オリョン/1933~2022)



- 評論、エッセイ、小説、戯曲など、文学のあらゆるジャンルにわたり執筆活動
- 大韓民国初代文化部長官
- 88 ソウルオリンピック開・閉会式総括企画、大韓民国新千年準備委員会、ユネスコ世界文化芸術教育大会組織委員会など大規模な行事を担う
- 北東アジア文化専門家、韓中日比較文化研究所所長
- 平成 8 年度 国際交流基金賞(1996 年)、大韓民国金冠文化勲章(2021 年)、第 5 回「奈良平城京-ERIA アジアコスモポリタン賞 メモリアル賞(2023 年)

1933.11.13 韓国忠清南道 牙山市生まれ
 1956 ソウル大学校文理科大学国語国文学科学士
 1956 韓国日報紙に『偶像の破壊』を発表
 1958 ソウル大学校国語国文学科同期の姜仁淑(カン・インスク)と結婚
 1959 『抵抗の文学』出版
 1960 ソウル大学校大学院国語国文学科文学修士
 1960~1972 ソウル新聞、京郷新聞、中央日報、朝鮮日報の論説委員
 1963 『土の中にあの風の中に』出版
 1966~1989 梨花女子大学校文理大國文科教授
 1972 月刊紙『文学思想』創刊
 1979 大韓民国文化芸術賞
 1981~1982 東京大学比較文学比較文化研究室 客員研究員
 1982 『「縮み」志向の日本人』出版
 1987 檀国大学校大学院国語国文学科文学博士
 1988 88 ソウルオリンピック開・閉会式総括企画
 1989 国際日本文化研究センター客員教授

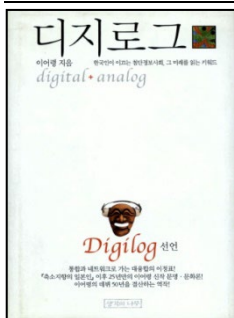
1990~1991 大韓民国初代文化部長官
 1992 日本文化デザイン大賞
 1994~2022 大韓民国芸術院会員
 1995~2000 梨花女子大学校文理大國文科教授
 1996 平成 8 年度 国際交流基金賞
 1999~2001 大韓民国新千年準備委員会委員長
 2001 寧仁文学館を設立
 2003~2004 国際日本文化研究センター外国人研究員
 2006 『デジログ』出版
 2007 東京でキリスト教の洗礼を受ける
 2008~2019 韓中日比較文化研究所設立・理事長
 2009 第 4 回正岡子規国際俳句賞 スウェーデン賞
 2010 『知性から靈性へ』出版 奈良県立大学名誉総長
 2013 『生命が資本である』出版
 2021 大韓民国 金冠文化勲章
 2022.02.26 逝去
 2023.01 奈良県第 5 回「アジアコスモポリタン賞」メモリアル賞

【展示構成】



第 1 章 彼の創造的人生
 「極と極の結合によって創造的なアイデアが生まれる。」

『抵抗の文学』
 評論、1959、耕智社(韓国)

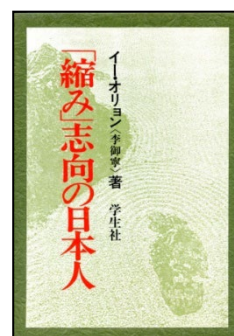


第 3 章 彼は図書館だ
 「私がどんな人間かは、私が書いた文章が証明する。」

『デジログ』
 評論、2008、センガゲナム

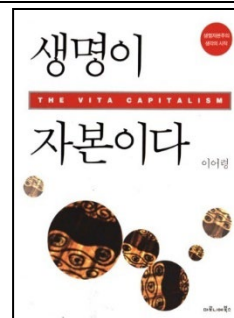
第 2 章 文化で日本を見つめる
 「日本文化の志向点は“縮み”にある。」

『「縮み」志向の日本人』
 日本著作、1982、講談社



第 4 章 永遠のクリエイター
 「創造は疑問の種である。」

『生命が資本である』
 評論、2013、マロニエブックス



「お問い合わせ：韓国文化院 河・趙 ☎03-3357-5970 ✉ postmaster@koreanculture.jp 》